

**MEDIAEDGE®**

# Live Server Box 150

(型番 MS-LSB150)

## 取扱説明書



2023 年 5 月 12 日

第 1.0 版

Copyright (C) 2023 MEDIAEDGE Corporation

改訂履歴

版	Firmware	年月日	改訂内容
1.0	1.0.3	2023/05/12	初版

# 目次

目次	i
I. はじめに	1
I-1. 本製品を使用される際の注意事項	1
■ 注意事項	2
■ 個人情報の取扱いについて	2
■ 商標について	3
■ 警告	3
I-2. ご使用の前に	4
■ パッケージ内容の確認	4
■ 当社ホームページについて	4
■ ソフトウェアのバージョンについて	4
I-3. 留意事項	5
■ 表記について	5
■ ご注意	5
■ 制限事項	5
■ 利用許諾について	5
I-4. 概要	7
■ I-4-1. Live Server Box 150 の概要	7
■ I-4-2. 機能概要	7
■ I-4-3. 対応する Web ブラウザー	8
I-5. 各部の名称	9
■ I-5-1. 本体前面	9
■ I-5-2. 本体背面	9
I-6. 機器の接続、起動と終了	10
■ I-6-1. 機器の接続	10
■ I-6-2. 起動の操作	11
■ I-6-3. 電源オフの操作	11
II. Web アプリケーション	13
II-1. アプリの起動	13
II-2. アプリの機能説明	15
■ II-2-1. ホームページ	15

■ II-2-2. ホームページへの遷移.....	17
■ II-2-3. 管理メニュー.....	18
➤ ユーザー管理.....	18
➤ 配信管理.....	21
■ II-2-4. 言語選択.....	28
■ II-2-5. ログインユーザー.....	29
➤ システム設定.....	29
➤ アカウント設定.....	31
➤ ログアウト.....	31
III. 視聴.....	33
III-1. 配信の視聴.....	33
■ III-1-1. 再生画面の説明.....	34
IV. デスクトップ.....	37
IV-1. ログイン.....	37
IV-2. デスクトップの操作.....	38
■ IV-2-1. ネットワーク設定.....	38
■ IV-2-2. 電源オフ・再起動.....	39
■ IV-2-3. 時刻設定.....	40
➤ 時刻の確認.....	40
➤ 日付・時間の設定.....	40
■ IV-2-4. ログアウト.....	41
V. Appendix.....	42
■ V-1-1. 技術仕様.....	42
■ V-1-2. ソフトウェア仕様.....	42
■ V-1-3. ハードウェア仕様.....	43
■ V-1-4. 外観・寸法.....	45
■ V-1-5. LAN コネクターピン配列.....	46

# I. はじめに

この章では、Live Server Box 150 のご使用前に確認していただきたい事項や、ご注意いただきたい事項について説明します。

## I-1. 本製品を使用される際の注意事項

ここでは、本製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、メディアエッジ株式会社 カスタマーサポートまでお問い合わせください。

メディアエッジ株式会社  
カスタマーサポート  
TEL : 078-265-1552  
FAX : 078-265-1550  
(月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00 ※祝日や当社指定休日を除く)

### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したりしないでください。AC アダプターを抜くときは、プラグ部分を持ってください。コードが傷んだら、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。

### 分解しない

ケースを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご依頼ください。

### ほこりや湿気の多い場所で使用しない

ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因となります。

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

### 雷が鳴り出したら使わない

本体や、プラグには触れないでください。感電の原因となります。

### めれた手で AC アダプターを触らない

めれた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

### 直射日光の当たる場所に置かない

日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。火災や製品の故障の原因となります。

### 煙が出た状態で使用しない

煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。火災や製品の故障の原因となります。

異常が発生したら、本体の電源を切り、電源プラグを抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

### **製品が破損した状態で使用しない**

本製品を落としたり、カバーを破損した状態のまま使用したりしないでください。火災や製品の故障の原因となります。製品が破損した場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

### **不安定な場所に置かない**

不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。落下するおそれがあり、けがをしたり、製品の故障の原因となります。

電源コードや AV ケーブルは整理して配置してください。足にひっかけると、けがや製品の故障の原因となります。

### **お手入れの際は電源を切る**

接続するときやお手入れの際は、電源コードを抜いてください。感電や製品の故障の原因となります。お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。長期間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから外してください。

### **付属の AC アダプター以外は使用しない**

付属の AC アダプター以外の製品を使用しないでください。火災や製品の故障の原因となります。

### **本体を布などで覆わない**

風通しの悪い場所や布などで覆った状態で使用しないでください。通風孔がふさがれると内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。

## ■ 注意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的及び、当社が推奨する使用環境以外での本製品の動作保証は、一切いたしかねます。

## ■ 個人情報の取扱について

当社では、お客様の個人情報は原則として下記の目的以外では使用いたしません。

- ご利用の当社製品のサポートの実施  
当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施。

※ 調査結果につきましては、お客様の個人情報を含まない形で当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがあります。

- 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認。
- ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供。
- 懸賞企画等で当選されたお客様への賞品の発送。

事前にお客様のご了承を得た上で、上記以外の目的で使用させていただく場合があります。

当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特段の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはありません。

お客様の個人情報の取扱いに関するお問い合わせ、ご意見 <http://www.mediaedge.co.jp> までご連絡ください。

#### ■ 商標について

- ① MEDIAEDGE は、メディアエッジ株式会社の登録商標です。
- ② HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- ③ Microsoft は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- ④ Google は米国 Google LLC の登録商標です。
- ⑤ その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

#### ■ 警告

##### ■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピューターのモニターおよびテレビ画面に表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっているこ

とも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

##### ■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャーしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャーしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

## I-2. ご使用の前に

### ■ パッケージ内容の確認

Live Server Box 150 のパッケージの中に以下の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、ご購入いただきました販売店もしくは下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

メディアエッジ株式会社  
カスタマーサポート  
TEL : 078-265-1552  
FAX : 078-265-1550  
(月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00 ※祝日や当社指定休日を除く)

Live Server Box 150 同梱物

- Live Server Box 150 本体× 1
- AC アダプター・電源ケーブル× 1
- VESA マウント金具×1
- M4 x 4mm ネジ×4
- M4 x 8mm ネジ × 4
- 取扱説明書 ×1

### ■ 当社ホームページについて

Live Server Box 150 を始めとする当社の最新情報をホームページ

(<http://www.mediaedge.co.jp>) にて発信しています。

当社ホームページに是非アクセスいただきご活用ください。

### ■ ソフトウェアのバージョンについて

本書では Live Server Box 150 バージョン 1.0.3 の操作方法を説明しています。



## I-3. 留意事項

### ■ 表記について

- 本書の説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラストおよび画面写真が異なる場合があります。
- 本マニュアルでは本製品を Live Server Box または LSB（短縮名）と表記しています。

### ■ ご注意

- 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。

### ■ 制限事項

現行ファームウェアでの制限事項を示します。

- 設定や操作、ストリーム再生などで使用するブラウザーとして、Windows で動作する Microsoft Edge や Google Chrome、macOS で動作する Safari および Andoroid で動作する Google Chrome をサポートしています。  
上記以外の環境で使用した場合には一部もしくはすべての機能が正常に動作しない可能性があります。

### ■ 利用許諾について

本製品は、搭載するソフトウェアの一部にオープンソースライセンスに基づくオープンソースソフトウェアを利用しています。本件に関する質問はメディアエッジ株式会社カスタマーサポートまで FAX または電子メールにてお問い合わせください。

メディアエッジ株式会社

FAX : 078-265-1550

メール : support@mediaedge.co.jp



## I-4. 概要

### ■ I-4-1. Live Server Box 150 の概要

本製品はエンコーダーから配信されるストリーミング映像を、ネットワークを経由して多数の Windows PC、Mac、スマートフォンやタブレット端末で視聴できる装置です。本装置は RTMP ストリームを受信し、HLS プロトコルに変換して視聴端末に送信します。

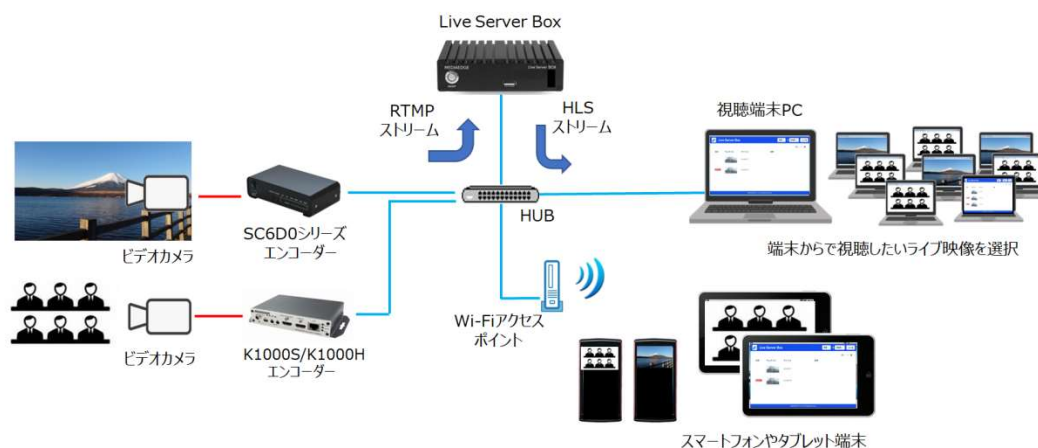
➤ 対応するストリーミングエンコーダー

MEDIAEDGE Encoder K1000S/K1000H (RTMP)

SC6D0 シリーズエンコーダ (RTMP)

その他、RTMP でストリーム配信できるアプリケーションまたは製品  
(すべての機器で動作を保証するものではありません)

(使用例)



### ■ I-4-2. 機能概要

本製品は Web ベースのアプリケーションで構成されています。端末から Web ブラウザーで管理画面を表示し下記機能の操作が可能です。

- ユーザーアカウントによるログイン機能 ※1
- ユーザーアカウントの管理 (登録、編集、削除)
- ストリーミングエンコーダーからのライブ映像の登録、編集、削除
- 登録したライブ映像を中継して視聴
- エンコーダーから RTMP ストリームで配信されたライブ映像を HLS プロトコルに変換して中継配信
- 登録したライブ映像の視聴制限 ※2
- システム設定の編集、インポート、エクスポート

- ※1. 各ユーザーには異なる権限を与えることができ、コンテンツ視聴しかできないユーザーや全ての機能にアクセスできるユーザーも作ることができます。  
そのためログインユーザーによってアクセスできる機能は異なります。
- ※2. 視聴可能なユーザー登録、視聴可否の設定、視聴可能な時間帯や期間の設定が可能です。

#### ■ I-4-3. 対応する Web ブラウザー

本製品の操作・映像の視聴には以下のブラウザーの使用をお勧めします。

- Microsoft Edge バージョン 100 以降
- Google Chrome バージョン 100 以降
- Safari (iOS) バージョン 15 以降

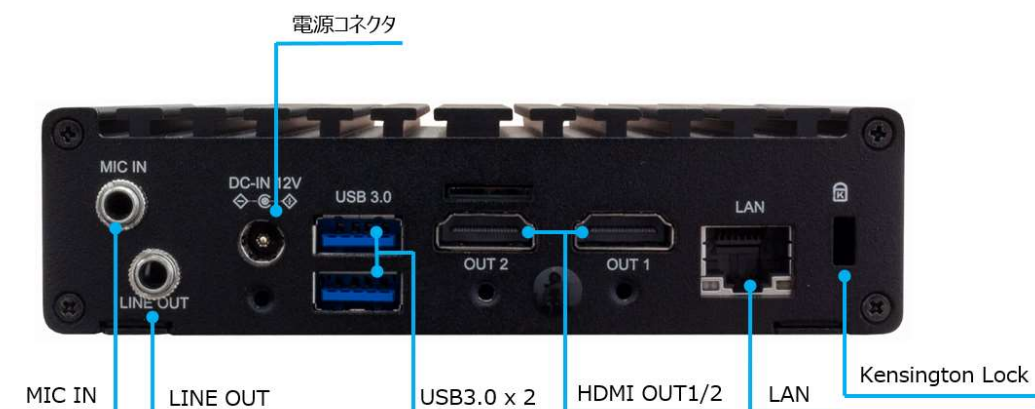
## I-5. 各部の名称

### ■ I-5-1. 本体前面



電源スイッチ	本体の起動、シャットダウンなどの電源操作を行います 起動中はリング部が点灯します
USB2.0	USB2.0 ポートです。USB 機器を接続できます
リモコン受光部	本製品では使用しません

### ■ I-5-2. 本体背面



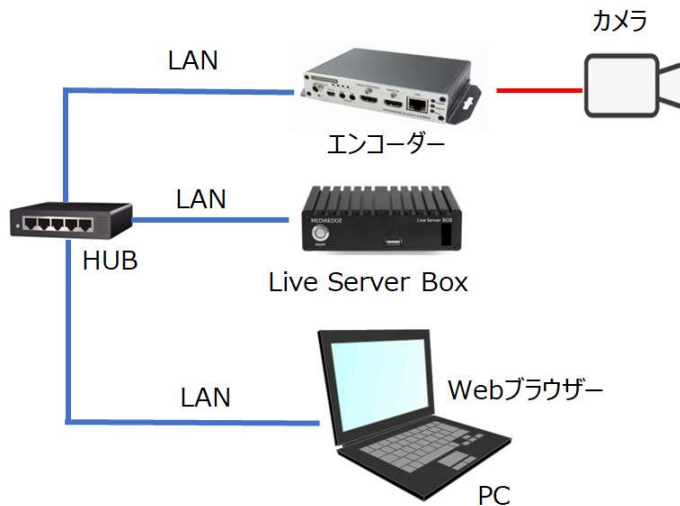
MIC IN	マイク入力端子(使用しません)
LINE OUT	アナログオーディオ出力端子(HDMI 音声出力時は使用できません)
電源コネクタ	付属の AC アダプターを接続します ※付属の AC アダプター以外は絶対に使用しないでください。
USB3.0	USB3.0 ポートです。USB 機器を接続できます
OUT 1/2	HDMI 出力端子です。OUT2 は通常使用しません ※HDMI OUT 端子にはビデオとオーディオが出力されます
LAN	LAN ケーブルを接続します
Kensington Lock	Kensington セキュリティスロット(盗難防止ワイヤー取り付け穴)です

## I-6. 機器の接続、起動と終了

### ■ I-6-1. 機器の接続

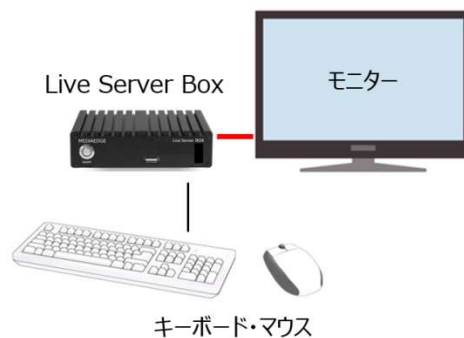
以下の接続例を参考に、運用に合わせて Live Server Box と周辺機器を接続してください。

1. 本体を LAN に接続し、LAN 上の PC から Web ブラウザで操作を行う場合



参照 : [Web アプリケーション](#)

2. 本体にキーボードやマウス・ディスプレイを接続して LSB のデスクトップで操作を行う場合



参照 : [デスクトップ](#)

※ほとんどの場合 LAN 接続(上記 1)で利用できますが、ネットワーク経由の操作が行えない場合や電源ボタンを使わずにシャットダウンなどをする場合はこのように接続します。

### ■ I-6-2. 起動の操作

付属の AC アダプターを電源に接続し、DC 出力コネクタとネットワークケーブルを本体に接続してください。  
そして本体の前面にある電源ボタンを押すと起動します。

### ■ I-6-3. 電源オフの操作

本体の電源を切る場合は、本体前面にある電源ボタンを押してください。  
または LSB のデスクトップにログインしてシャットダウン操作を行なう必要があります。  
Web アプリからはシャットダウンできません。

#### ご注意

電源を切る場合はかならず所定の手順でシャットダウンしてください  
コンセントをいきなり抜くなど、正規のシャットダウン手順を踏まずに電源を切った場合には、装置が起動しなくなる  
可能性がありますので注意してください。





## II. Web アプリケーション

Live Server Box は Web アプリを使って本体の設定や操作を行います。この章では Web アプリの操作方法について説明します。

### II-1. アプリの起動

配信の操作は、Web アプリから行います。

Live Server Box で配信の操作を行うには、以下のものを用意してください。

➤ 配信管理／視聴用コンピューター

本製品に対応する Web ブラウザーが動作すれば、OS やハードウェアは問いません(※1)。  
ネットワークを経由して Live Server Box に接続する必要があります。

(※1) 動作確認済みの OS と Web ブラウザー

Windows では Microsoft Edge, Google Chrome

macOS、iOS では Safari

android では Google Chrome

※記載にある OS・ブラウザでもすべての環境で動作を保証するものではありません

Web コンソールへのログインは、Live Server Box に接続できるネットワークで Web ブラウザーから IP アドレス(<http://xxx.xxx.xxx.xxx/>)でアクセスします。

出荷時の IP アドレスは DHCP で割り当てられる値、または 192.168.1.200 です。

Live Server Box に接続すると、ログイン画面が表示されます。



出荷時には下記の 1 つのユーザー名とパスワードがデフォルトで設定されています。

ユーザー名 (ID)	root
パスワード	000000
権限	管理者ユーザー

パスワードは Web アプリ上で変更可能です。

変更方法は、後述の「アカウント設定」を参照してください。  
「認証なしで進む」を選択するとゲストユーザーとして使用できます。




## II-2. アプリの機能説明

### ■ II-2-1. ホームページ

Web アプリのメインとなるページです。ホームページには Live Server Box のナビゲーションバーと配信の公開状態、サムネイル、タイトル、説明などが表示されます。状態やサムネイル表示は Web ブラウザーを再読み込みする毎に更新されます。



①	Live Server Box	ホームページへのリンクです。視聴可能なコンテンツ一覧が表示されます。
②	管理画面選択	管理者権限を持ったユーザーでログインしたときに表示されます。 ユーザー管理と配信管理の画面表示が選択できます。
③	言語選択	英語と日本語の言語表示を選択できます。 デフォルトはブラウザの言語です。
④	ログインユーザー	現在ログインしているユーザー名を表示します。 ここをクリックすると、管理者権限のユーザーの場合は、システム設定、アカウント設定、ログアウトの選択が可能です。ユーザー権限のユーザーの場合は、アカウント設定、ログアウトが表示されます。

⑤	表示形式選択	<p>登録した配信をリスト形式またはタイル形式で表示します。</p> <p>■リスト形式</p>  <p>■タイル形式</p> 
⑥	登録済みライブエンコーダーの一覧表示と再生	<p>■リスト形式表示の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・状態 ライブエンコーダーの配信が公開されている場合、配信中と表示されます。</li> <li>・サムネイル 配信中の画像が適宜キャプチャーされたものが表示されます。 画面表示の更新を行ったときに最新のものが表示されます。</li> <li>・タイトル 配信の登録時に設定した内容が表示されます。</li> <li>・説明 配信の登録時に設定した内容が表示されます。</li> </ul> <p>■タイル形式表示の場合</p> <p>状態・ポスターフレーム・タイトルが表示されます。 説明は表示されません。</p> 

## ■ II-2-2. ホームページへの遷移

ホームページにアクセスするにはナビゲーションバーの左端にある MEDIAEDGE ロゴと Live Server Box の領域をクリックします。

ユーザーの権限が管理者の場合は下記ナビゲーションバーが表示されます。



ユーザーの権限がユーザーの場合は操作可能な項目が減り下記のナビゲーションバーが表示されます。



操作により別の画面に遷移していても、上記赤枠の領域をマウスでクリックすると、ホームページに遷移します。



### ■ II-2-3. 管理メニュー

管理者権限のユーザーが操作できるメニューです。

ユーザー管理と配信管理の2つのメニューが選択できます。



#### ➤ ユーザー管理

登録済みのユーザー（IDと表示名）がリスト表示されます。

ID	表示名	
管理者 root		編集 削除
ユーザー user		編集 削除
管理者 admin		編集 削除
+		

出荷時は root ユーザー（管理者権限）のみ登録されています。

root ユーザーは削除できないため、削除ボタンが薄く表示されています。

ユーザーを追加するときは⊕をクリックして、「ユーザーを追加」ダイアログを表示し、ユーザー情報を入力したあと[追加] ボタンを押します。入力したデータに問題がなければ、一覧リストにユーザーが追加表示されます。

The screenshot shows a web browser window with the title 'Live Server Box'. The main content area displays a modal dialog titled 'ユーザーを追加' (Add User). The dialog contains the following fields and controls:

- ID**: A text input field.
- 権限** (Role): A dropdown menu with 'ユーザー' (User) selected.
- 表示名** (Display Name): A text input field.
- 説明** (Description): A text area.
- 新しいパスワード** (New Password): A password input field with a toggle for visibility.
- 新しいパスワードの再入力** (Repeat New Password): A password input field with a toggle for visibility.
- Buttons**: 'キャンセル' (Cancel) and '追加' (Add) buttons at the bottom right.

At the bottom of the browser window, a copyright notice reads: ©MEDIAEDGE Co., Ltd. All Rights Reserved.

設定項目は次の通りです

ID(必須)	ユーザー名を入力します。 ID は英数小文字からなる 32 文字以下の文字列です。
権限(必須)	管理者／ユーザーから選択します。 ログイン画面から認証なしで進むとシステム上ではゲストユーザー扱いとなります (表「ユーザーの権限」を参照ください)
表示名(任意)	ID の表示名などを記入します。
説明(任意)	コメントなどがあれば記入します。
新しいパスワード(必須)	パスワードを入力します。
新しいパスワードの再入力	パスワードの打ち間違いを防ぐため、先に入力したパスワードを再度入力します。
[キャンセル] ボタン	入力した情報を破棄して「ユーザーを追加」画面を閉じます。
[追加] ボタン	入力した情報を持つユーザーを追加して、「ユーザーを追加」画面を閉じます。 ユーザー情報に間違いがなければユーザーリストに新しいユーザーが追加されて表示されます。

## ユーザーの権限

操作項目/アカウント別権限	管理者	ユーザー	ゲスト
ユーザーアカウントの作成	✓		
ユーザーアカウントの編集	✓		
ユーザーアカウントの削除	✓		
配信の作成	✓		
配信の編集	✓		
配信の削除	✓		
配信スケジュールの作成	✓		
配信スケジュールの削除	✓		
配信一覧へのアクセス	✓	✓ ※1	✓ ※1
公開配信の視聴	✓	✓	✓
プライベート配信の視聴	✓	✓ ※2	
システム設定の変更	✓		

※ 1 視聴権限のない配信は一覧に表示されません。

※ 2 管理者により視聴権限が付与されている場合のみ



## ➤ 配信管理

登録済みの配信の一覧画面が表示されます。

状態	サムネイル	タイトル	説明	配信
		Encoder 01		<input type="checkbox"/> <span>スケジュール設定</span> <span>編集</span> <span>削除</span>
🔒		Encoder 02		<input type="checkbox"/> <span>スケジュール設定</span> <span>編集</span> <span>削除</span>
🔒		Encoder 03		<input type="checkbox"/> <span>スケジュール設定</span> <span>編集</span> <span>削除</span>
+				

出荷時は何も登録されていません。

配信の最大登録数は 10 個です。

10 個を超えると登録できない旨の警告が出ます。

### ■ 配信を追加する

配信を追加するときは⊕をクリックして、「配信を追加」を表示して配信の設定を入力して [追加] ボタンを押します。

入力した内容に問題がなければ、一覧に配信が追加表示されます。

設定項目とその内容は次の通りです

ストリーム ID (必須)	エンコーダーの配信先の一部になるストリーム ID を入力します。 ストリーム ID に使用できる文字の制限などについては使用するエンコーダーのマニュアルを参照してください。 LSB では 1~256 文字の英数小文字の制限があります。 (0~9, a-z)
タイトル (必須)	配信の内容を示すタイトルを入力します。タイトルを入力しない場合登録できません。使用できる文字数は最大で 256 文字です。文字種の制限はありません。
説明(任意)	ここに、配信の詳しい説明などを記載することができます。配信動作には関係しません。

視聴制限(必須)	<p>配信を視聴できるユーザーを制限するかどうかを設定します。</p> <p>視聴制限を有効にすると、視聴可能なユーザーに入っていない場合は配信の一覧に表示されなくなります。この設定の有効/無効にかかわらず、管理者は必ず一覧に表示されます。</p>
視聴可能なユーザー	<p>視聴制限を有効にしたときに、ユーザー権限で視聴を許可するユーザーを選択します。</p>
[キャンセル] ボタン	<p>入力した情報を破棄して「配信を追加」画面を閉じます。</p>
[追加] ボタン	<div data-bbox="467 533 1251 1072"> </div> <p>[追加] ボタンを押すと、設定内容に間違いがなければ設定した値を元にエンコーダーの配信先 URL が発行されます。</p> <div data-bbox="467 1211 1251 1693"> </div> <p>「エンコーダーの配信先 URL」はストリームを配信するエンコーダーが配信先として設定するための URL です。エンコーダーの配信先 URL の指定方法は機器によって異なることがあるので、その場合はこの URL を元に適宜設定してください。</p> <p>「視聴ページ URL」は視聴する機器からこの配信に直接アクセスするための URL となります。</p>

下記は「エンコーダーの配信先 URL」を MEDIAEDGE Encoder K1000H へ設定した例です。



「閉じる」ボタンを押すと「配信を追加」画面を閉じて、配信一覧画面に戻ります。この時、新しい配信が追加表示されています。



## ■ 配信を編集する



上図の赤枠で囲まれた [編集] ボタンを押すと Encoder 01 の「配信を編集」ダイアログが表示されます。「配信を編集」では、変更したい項目を修正し [保存] ボタンを押すと配信の登録内容が変更されます。



## ■ 配信を削除する



配信の一覧から削除したい配信の [削除] ボタンを押すと、配信の削除を確認するダイアログが表示されます。

[削除] ボタンを押すと、配信が一覧から削除されます。



## ■ 配信の公開スケジュールを設定する

配信の公開スケジュールを登録/削除します。

この設定をすることで登録した期間のみ配信を視聴することができます。

1 つの配信に登録できる公開スケジュールは最大 50 件です。

配信の一覧で[スケジュール設定] ボタンを押します。



スケジュール設定ダイアログが表示されます。



配信公開のスケジュールを追加するときは⊕をクリックします。

「スケジュールの追加」ダイアログに公開するスケジュールの設定を入力して [追加] ボタンを押します。  
設定項目に入力した内容に問題がなければ、「スケジュール設定」ダイアログにスケジュールが追加表示されます。



[閉じる] ボタンを押すと「スケジュール設定」は閉じられます。



スケジュールの繰り返し設定は なし/毎日/毎週 の 3 種類あり、それぞれの設定と動作は次の通りです。

## 1. 単発配信

繰り返しに「なし」を設定した場合、開始日時と終了日時の間に一度だけ配信を公開します。

「スケジュールの追加」では、開始日時と終了日時を指定します。

スケジュールの追加 ダイアログ

上記のスケジュールの場合 2023/03/09(木)の 10:30 から 13:30 の間、配信が公開されます。

## 2. 毎日配信

繰り返しに「毎日」を設定した場合、開始日から終了日の間で指定された時間に配信を公開します。

「スケジュールの追加」では、開始時刻と終了時刻および開始日と終了日を指定します。

時刻の指定が日をまたぐ場合(例: 21:00 ~ 翌 3:00 など)は、開始日は 0 時に公開し終了日は 24 時に配信の公開が終了します。

スケジュールの追加 ダイアログ

例 1: 12:00 ~ 18:00、2023/01/01 ~ 2023/01/31

1 月 1 日から 1 月 31 日までの間、毎日 12 時から 18 時まで配信を公開する。

例 2: 21:00 ~ 翌 3:00、2023/01/01 ~ 2023/01/31

1 月 1 日は 0 時から 3 時までと、21 時から翌 3 時まで配信を公開します。

以降、毎日 21 時から翌 3 時までの配信を公開します。

1 月 31 日は 1 月 30 日の 21 時から 1 月 31 日の 3 時までと  
21 時から 24 時まで配信を公開します。

### 3. 毎週配信

繰り返しに「毎週」を設定した場合、開始日から終了日の間で指定された曜日に配信を公開します。  
「スケジュールの追加」では、開始曜日と時刻・終了曜日と時刻および開始日と終了日を指定します。  
時刻の指定が日をまたぐ場合(例: 21:00 ~ 翌 3:00 など)は、開始日は 0 時に公開し終了日は 24 時に配信の公開が終了します。

#### スケジュールの追加 ダイアログ

例 1: 月曜 9:00 ~ 水曜 12:00、2023/01/01 (日) ~ 2023/01/31 (火)

1 月 2 日 (月) 9:00 ~ 1 月 4 日 (水) 12:00 まで配信を行います。

以降毎週月曜 9:00 から水曜 12:00 までの配信を繰り返します。

例 2: 月曜 9:00 ~ 月曜 12:00、2023/01/03 (火) ~ 2023/01/08 (日)

配信日の区間に月曜 9:00 ~ 月曜 12:00 を含まないため配信は一度も行われません。

最終週は 1 月 30 日 (月) 9:00 ~ 1 月 31 日 (火) 24:00 まで配信を行います。

設定したスケジュールで視聴可能になったときは、状態の列に「配信中」というメッセージが出ます。

配信管理画面では、時計アイコン + 赤枠に黒背景で表示されます。



視聴ユーザーが使用するホームページ画面では、赤背景で表示されます。



## ■ II-2-4. 言語選択

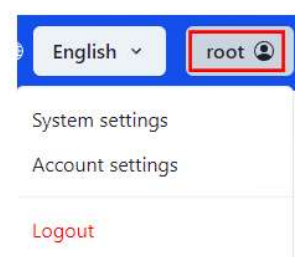
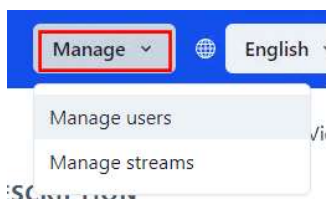
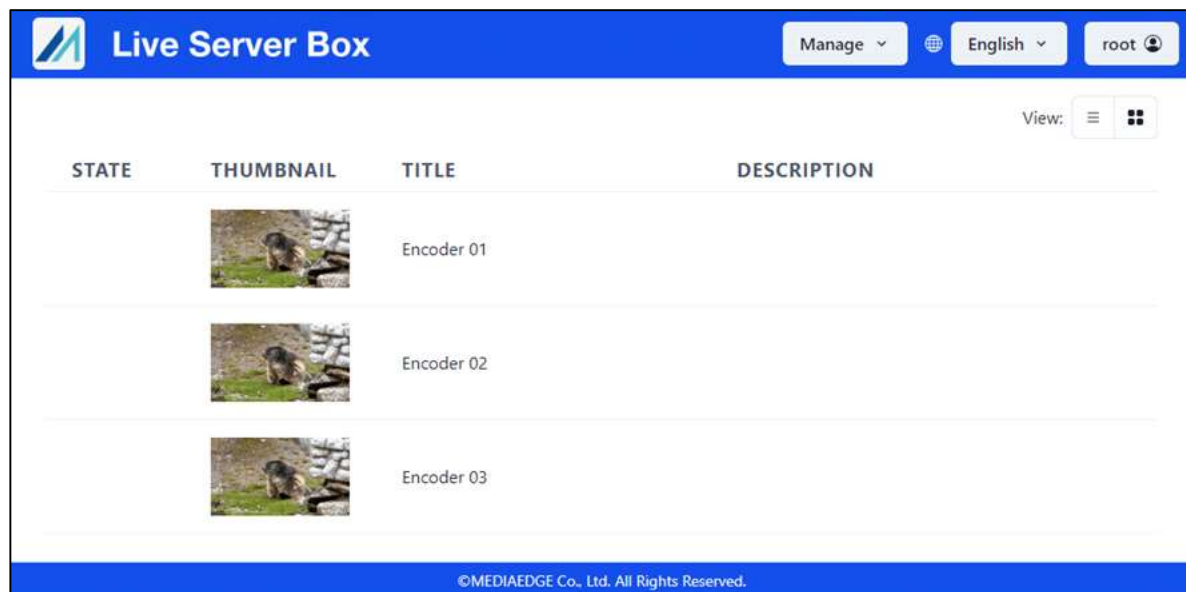
LSB の表示メニューの言語を選択できるメニューです。



言語は日本語／英語(English)が選択できます。

英語を選択すると下記の通りメニューが英語で表示されます。

(表示例)





## ■ II-2-5. ログインユーザー

ログイン中のユーザーが表示されます。



ユーザーの権限が「管理者」の場合、このボタンをクリックするとシステム設定・アカウント設定・ログアウトが選択できます。ユーザーの権限が「ユーザー」の場合はアカウント設定とログアウトが選択できます。

### ➤ システム設定

Live Server Box の「システム設定」ダイアログを表示します。

各項目を編集して [適用] ボタンを押すことでシステム設定を変更することができます。

### システム設定

**DHCP**

無効

**固定IP**

192.168.102.113

**サブネットマスク**

24 (255.255.255.0)

**デフォルトゲートウェイ**

191.168.102.1

**プライマリーDNS**

191.168.103.1

**セカンダリーDNS**

191.168.103.1

**NTPサーバー**

192.168.102.112

適用

---

**インポート**

ファイルの選択 ファイルが...ていません

インポート

lsb-export-yyyyMMDD-HHmms.zip

**エクスポート**

エクスポート

---

**更新**

ファイルの選択 ファイルが選...れていません

更新


**製品の初期化**

リセット

### バージョン情報

Web: 1.0.3-ea94a53

Server: 1.0.3

DHCP	DHCP の無効／有効が選択できます。 DHCP を有効にすると、IP アドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイ・DNS の設定は DHCP サーバー(ルーターや管理サーバー)から取得します。
固定 IP	DHCP が無効のとき、IP アドレスを指定します。
サブネットマスク	DHCP が無効のとき、サブネットマスクを指定します。
デフォルトゲートウェイ	DHCP が無効のとき、デフォルトゲートウェイを指定します。
プライマリDNS	DHCP が無効のとき、プライマリDNS を指定します。
セカンダリDNS	DHCP が無効のとき、セカンダリDNS を指定します。
NTP サーバー	システムの時計を合わせる時刻サーバーを指定します。 組織内やインターネットプロバイダー・一般向けに提供されている時刻サーバーを指定してください。日本国内でインターネットに接続されている場合、デフォルトの設定のままで利用できます。
適用ボタン	ネットワーク設定を適用するためのボタンです。 ここまでの設定項目を変更したときは、このボタンを押すことで設定が反映されます。
インポート	一括保存したユーザー設定・配信の登録内容をファイルから読み込みます。
エクスポート	現在のユーザー設定・配信の登録内容をファイルに一括保存します。
更新	Live Server Box のソフトウェアや内部設定を更新します。 MEDIAEDGE が提供する更新ファイルを適用する際に使用します。
製品の初期化	<p>現在のユーザー設定・配信の登録を全て消去します。 ※ネットワーク設定は保持されます。</p> <p>リセットボタンを押すと初期化の確認ダイアログが表示されます。</p>  <p>製品を工場出荷時の状態に初期化します。登録されたユーザーや配信のデータはすべて削除され、元に戻すことはできません。初期化を実行するには"confirm"と入力してください。</p> <p>ダイアログには入力欄と「キャンセル」「リセット」ボタンがあります。</p> <p>ユーザー・配信&amp;スケジュール登録を全て消去する場合は"confirm"と入力したあと、リセットボタンを押すと初期化されます。</p>
バージョン情報	現在の GUI とサーバーアプリケーションのバージョンが表示されています。

## ➤ アカウント設定

ログイン中のアカウントのパスワードを変更できます。

現在のパスワード



新しいパスワード



新しいパスワードの再入力



保存

パスワード更新後は自動的にログアウトし、再度ログインする必要があります

現在のパスワード	ログイン中のユーザーのパスワードを入力します。
新しいパスワード	変更する新しいパスワードを入力します。
新しいパスワードを再入力	パスワードの打ち間違いを防ぐため、先に入力した新しいパスワードを再入力します。
[保存] ボタン	入力した内容に間違いがなければ新しいパスワードに変更されて、ログイン画面に移動します。 パスワードの変更をしない場合はナビゲーションバーのホームページをクリックすると、視聴一覧表示が表示されます。

## ➤ ログアウト

ログアウトして、ログイン画面に遷移します。



## III. 視聴

映像の視聴に関する説明です。

### III-1. 配信の視聴

ホームページの配信一覧から「配信中」と表示されている画像またはタイトルをクリックすると、配信の再生画面が表示されます。ログイン中のユーザーが管理者権限を持っている場合は、配信管理画面からでも同様の操作で再生映像を確認できます。

配信一覧



再生画面



### ■ III-1-1. 再生画面の説明



Microsoft Edge (ver. 111/Windows) で再生した例です。

※使用するブラウザの種類やバージョンで再生画面上の表示内容や機能が違う場合があります。



再生コントロールは、再生中の動画の上にカーソルを移動すると表示されます。内容と用途は次の通りです。

①	シークバー	再生位置をコントロールします。
②	一時停止	<p>再生中にクリックすると再生中のビデオが一時停止します。</p>  <p>ビデオが一時停止すると▶ボタンが表示されます。このボタンを押すと再生が再開されます。なお、本製品はライブ配信の視聴を行うシステムのため、一時停止を行った場合は再生の再開時やそれ以降に配信に追いつこうとして映像がジャンプすることがあります。</p>
③	音量調節	<p>音量を調節します。</p> <p>このボタンを押すと音量を調節するバーが表示されますので好みの音量に調整します。再度ボタンを押すと消音となります。</p> 
④	フル画面表示	<p>再生中の映像を全画面で表示します。</p> <p>全画面で表示されたときに右下に表示されている赤枠内のアイコンをクリックすると、ブラウザウィンドウ内の再生に戻ります。</p> 

⑤	ピクチャーイン ピクチャー	<p>これをクリックすると再生画面の右下に小さなサイズで動画が再生されます (通常、使用する必要はありません)。</p>  <p>小さなサイズの動画を再度クリックすると元のサイズの動画再生に戻ります。</p>
⑥	タイトル・説明	再生中の動画のタイトルと説明(存在する場合)を表示します。
⑦	一覧に戻る	再生を終了し、配信一覧画面に戻ります。
⑧	チャンネル選択	<p>他の配信に切り替えます。</p> <p>その時点で公開している配信の一覧が表示され、その中から選択することができます。</p>  <p>ポップアップした一覧から切り替えたいタイトルを選択すると、その配信に再生が切り替わります。</p>





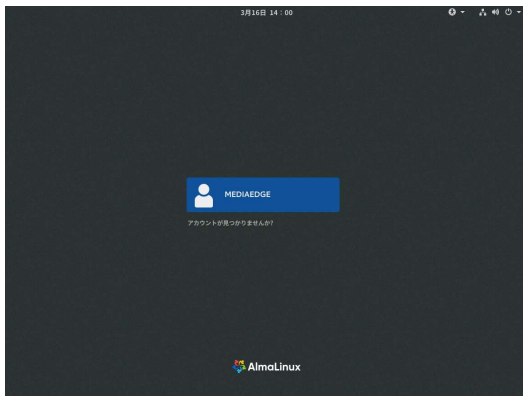
## IV. デスクトップ

Live Server Box 150 のデスクトップ画面にログインするとネットワーク・時刻の詳細設定、電源のシャットダウンなどの操作が可能になります。

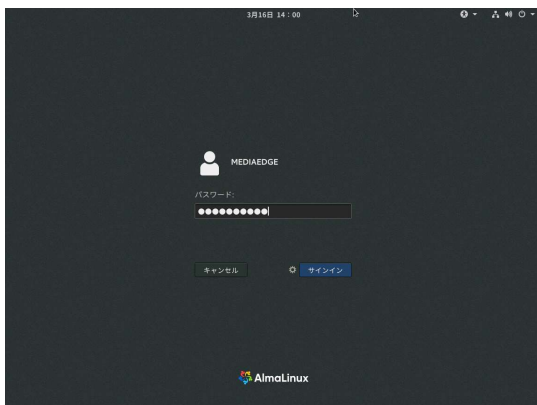
### IV-1. ログイン

LSB 本体にキーボードとマウス・モニターを接続して電源を入れて表示されるログイン画面からデスクトップにアクセスする方法を説明します。

本体の HDMI 端子にモニターを接続し、LSB の電源を入れてしばらく待つと下記の画面が表示されます。



MEDIAEDGE というアカウント名をクリックするとパスワード入力画面が表示されます。

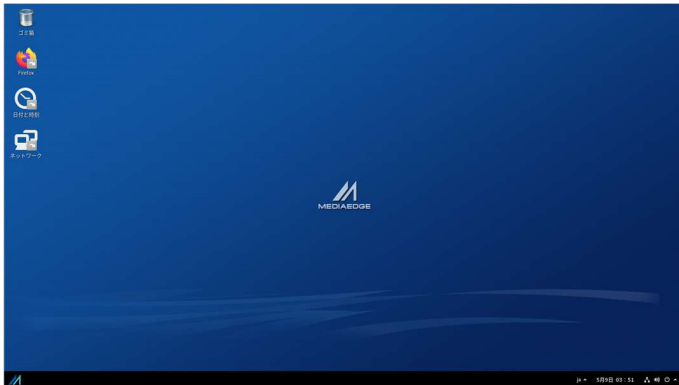


パスワードに **Ms-lsb150**

(大文字のエム・小文字のエス・マイナス記号・小文字のエル・エス・ビー・数字で 150)を入力して  
**サインイン** ボタン(または Enter キー)を押すと、デスクトップ画面が表示されます。

## IV-2. デスクトップの操作

LSB のデスクトップ画面です。

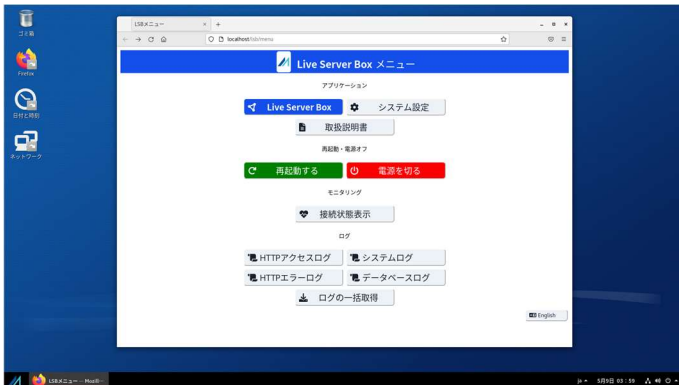


以下、LSB のデスクトップで本機に必要な操作を行う方法を説明します。

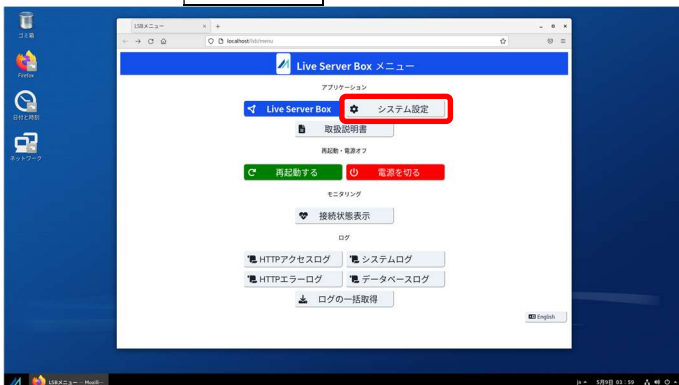
### ■ IV-2-1. ネットワーク設定

ネットワーク設定は、LSB のウェブブラウザで操作することができます。

LSB のデスクトップにログインすると、自動的にウェブブラウザが起動して Live Server Box のメニュー画面が表示されます。



メニュー画面で、**システム設定**ボタンを押すことで、管理者のシステム設定画面を開くことができます。



システム設定 ボタンを押すと、Live Server Box のログイン画面が表示されます。

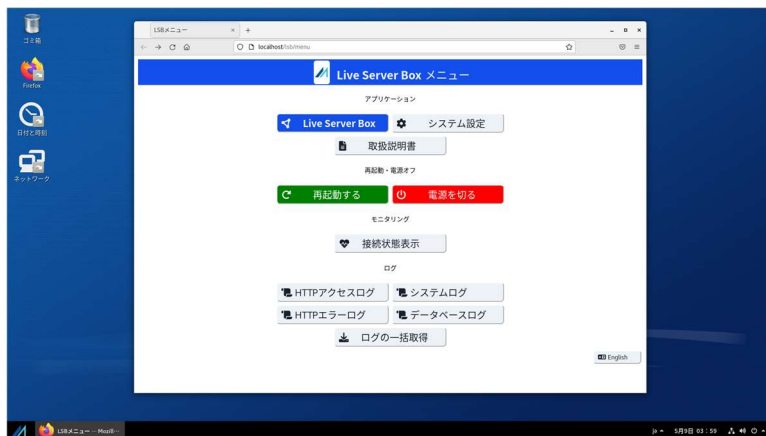


ここで管理者権限のある ID/パスワードでログイン(出荷時は root/000000)を行うと、システム設定画面を開くことができます。

ウェブブラウザでのシステム設定操作は、[ログインユーザー](#)を参照ください。

## ■ IV-2-2. 電源オフ・再起動

Live Server Box メニュー画面で、電源オフ・再起動の操作を行うことができます。

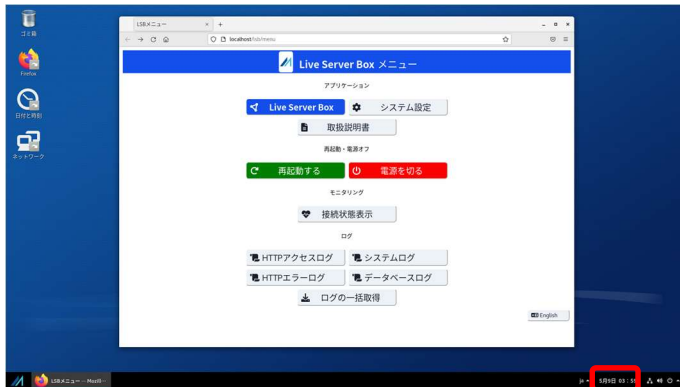


本体を再起動する場合は再起動する、電源を切る場合は電源を切るボタンをクリックしてください。

### ■ IV-2-3. 時刻設定

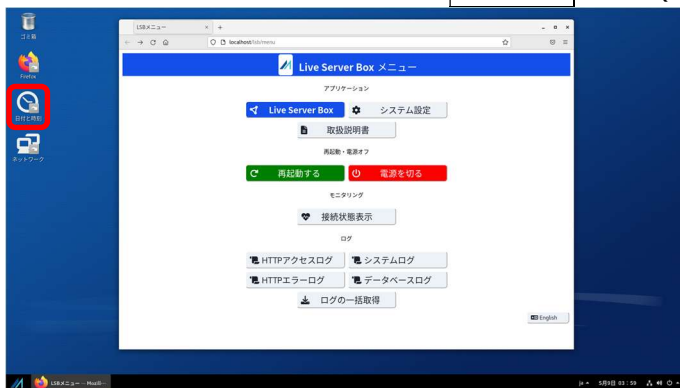
#### ➤ 時刻の確認

LSBの時刻は右下部の時計表示(赤枠内)で確認できます。



#### ➤ 日付・時間の設定

デスクトップ画面の左端に表示されている日付と時刻アイコン(赤枠内)をマウスでダブルクリックします。



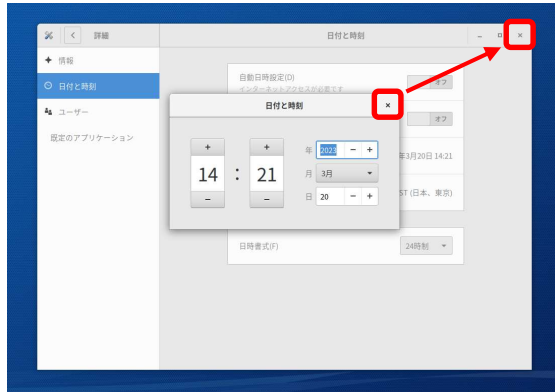
設定の詳細画面が表示されるので、日付と時刻を選択します。

まず、自動日時設定をオフにします。


次に、日付と時刻をクリックすると設定ダイアログが開きます。



日付と時刻の設定を終了する場合は右上端の×マークをクリックします。

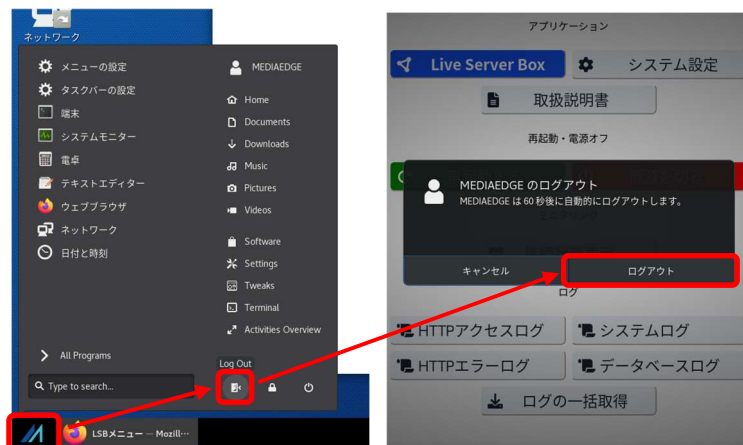


#### ■ IV-2-4. ログアウト

デスクトップのログアウトは、画面右下の  ボタンを押してメニューを出します。

メニューが出たら、検索窓の右側の **Log Out** ボタンを押します。

ログアウトのダイアログが出たら、ダイアログ右下の **ログアウト** ボタンを押します。



# V. Appendix

## ■ V-1-1. 技術仕様

ストリームの入出力（ネットワーク）	
入力	RTMP (RealTime Messaging Protocol)
出力	HLS (HTTP Live Streaming)
配信能力	<p>MEDIAEDGE Encoder K1000H から RTMP(2Mbps)を 1 本受信したとき、 140 クライアント</p> <p>MEDIAEDGE Encoder K1000H から RTMP(4Mbps)を 1 本受信したとき、 70 クライアント</p> <p>※上記の値は大体の目安です。実際に配信可能なクライアントの値はエンコード する映像や使用するネットワークなどの環境によって増減します。</p>

## ■ V-1-2. ソフトウェア仕様

OS	AlmaLinux 8 (Red Hat Enterprise Linux 互換)	
Web アプリ	ユーザー管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ユーザー権限 管理者、ユーザー、ゲスト(ログインなし)</li> <li>●登録可能なユーザー数 最大 10 ユーザー (1 ユーザーを複数の端末から使用可能)</li> </ul>
	配信管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登録可能な配信(ストリーム)数 最大 10 件</li> <li>●配信に登録可能な視聴スケジュール 最大 50 件/1 配信</li> </ul>
	表示言語	日本語/英語
	設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●システム設定 システム設定情報、バージョン情報</li> <li>●アカウント設定 パスワード変更</li> </ul>

### ■ V-1-3. ハードウェア仕様

ネットワークインタフェース		
有線 LAN	規格	1000Base-TX Ethernet/IEEE802.3 フレーム形式に準拠 オートネゴシエーション対応 フルデュプレックス対応
	端子	RJ45 モジュラーコネクター×1
映像音声		
HDMI 出力	規格	HDMI Ver2.0 (HDCP 非対応 HDR 非対応 RGB 色空間)
	端子	HDMI (Type A, 19ピン) ×2
	端子名	OUT1 / OUT2(使用しない)
	出力解像度	1920x1080 60p/59.94p 他
	音声	HDMI エンベデッド・オーディオ(LPCM, 2ch, 48kHz)
アナログ 音声出力  (HDMI 音声出力時 は使用できません)	形式	ステレオライン出力(アンバランス)
	端子	3.5mm ステレオミニジャック×1
	端子名	LINE OUT
	音声出力レベル	1.2Vrms @RL=10kΩ
	負荷インピーダンス	10kΩ以上を推奨
汎用入出力		
背面 USB	規格	USB 3.0 準拠
	バスパワー	最大負荷 900mA ※シャットダウン時給電あり
	端子	USB Type A × 2
前面 USB	規格	USB 2.0 準拠
	バスパワー	最大負荷 500mA ※シャットダウン時給電あり
	端子	USB Type A ×1
記録領域		
内蔵ストレージ	eMMC 32GB (システムで使用)	
定格		
電源	AC アダプター  型番 : FSP040-DHAN3	入力:AC 100V～240V (50Hz/60Hz)
		出力:DC 12V 3.3A 39.6W (定格)
		重量 : 100g
	本体 (動作電圧 12V)	通常動作時 (最大、USB 負荷なし) : 911mA シャットダウン時 (USB 負荷なし) : 32mA
	最大消費電力 (AC アダプタ含む)	通常動作時 (最大、USB 負荷なし) : 12.1W シャットダウン時 (USB 負荷なし) : 0.48W
温度	動作温度範囲	0～40℃
湿度	動作湿度範囲	10%～90%RH (結露しないこと)
RoHS	対応	

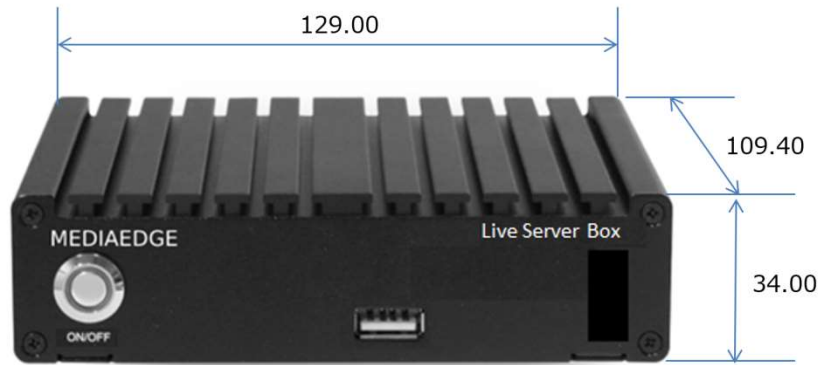
サイズ	
外形サイズ	129 (W) × 109.4 (D) × 34 (H) mm ※突起物、VESA マウント金具は含まず
質量	約 0.6kg (AC アダプターを除く)

※仕様は予告なく変更することがあります。



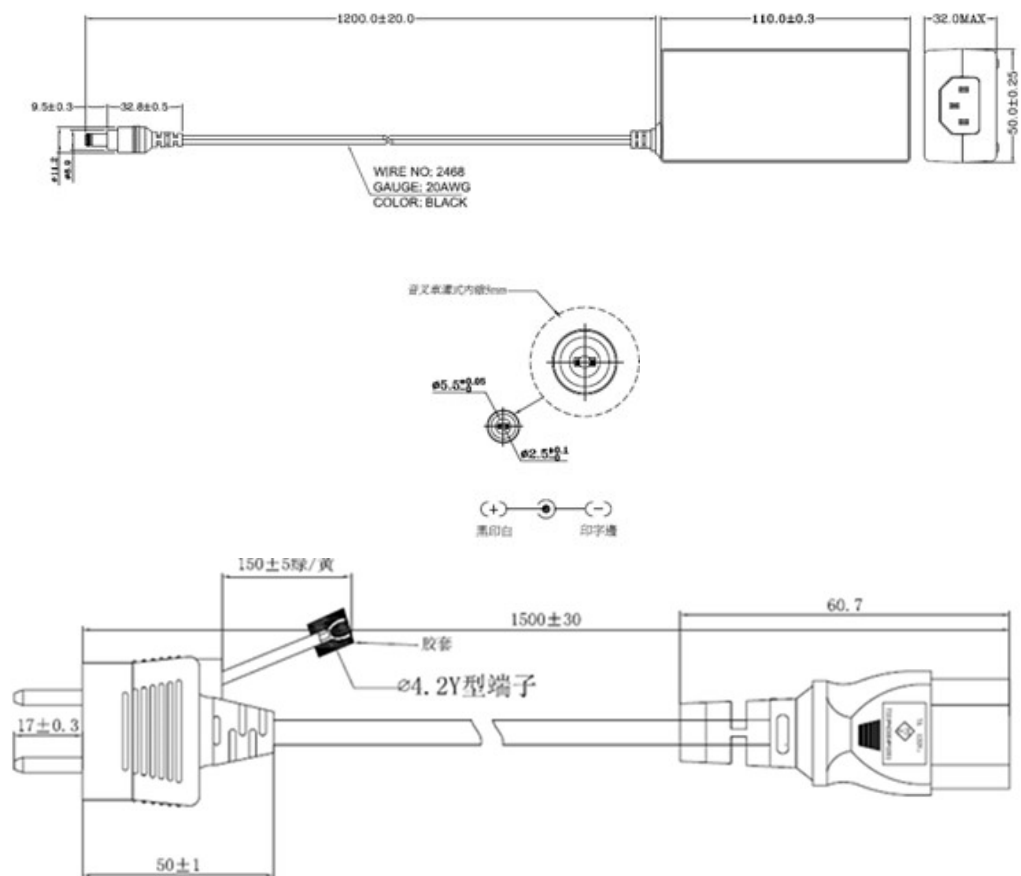
## ■ V-1-4. 外観・寸法

### ➤ 本体



※本体サイズに加えて前面に 50mm、背面に 50mm以上空間を開けて設置してください

### ➤ AC アダプター



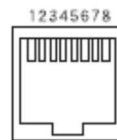
(単位 mm)

**■ V-1-5. LAN コネクターピン配列**

100Base-TX/1000Base-T Ethernet (LAN)

RJ-45

Pin#	Signal Name
1	Tx_D1+
2	Tx_D1-
3	Rx_D2+
4	BI_D3+
5	BI_D3-
6	Rx_D2-
7	BI_D4+
8	BI_D4-



**MEDIAEDGE®**

Live Server Box 150

取扱説明書

2023.05 Ver.1.0

Copyright © 2023 MEDIAEDGE Corporation

All rights reserved.

**メディアエッジ株式会社**

〒651-0083 神戸市中央区浜辺通5-1-14 23F

TEL:078-265-1551

[www.mediaedge.co.jp](http://www.mediaedge.co.jp)